

オリエンタルコンサルタンツから3社が開発した空港滑走路診断技術「ドラレコ点検」が、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（MCPC）の「MCPC award 2023」モバイルビジネス賞を受賞した。ドラレコ点検は滑走路の路面状況を学習させたAIを使って、路面の損傷などを自動検知する技術。飛行機の離着陸に影響を及ぼす滑走路の損傷の見落としを減らす。

同コンソーシアムは2003年に「MCPC award」を創設。モバイルシステムの導

ドラレコ点検の仕組み（報道発表資料から）

## MCPCアワードモバイルビジネス賞を受賞

### オリエンタルコンサルタンツ

### オリコンサルらの空港滑走路診断技術

入によりIoTやAI分野での業務効率化、業績向上、顧客満足度向上、社会貢献の推進、先進的なモバイル活用などの成果を上げた事例を顕彰している。モバイルソリューション、IoT、AIシステムのさらなる普及促進を図っている。

企業を対象としたモバイルビジネス賞では、モバイル、IoT、AI、ロボットシステムの導入により顕著な売り上げ拡大や業績向上を達成した事例を表彰している。

ドラレコ点検はオリエンタルコンサルタンツ、南紀白浜エアポート、NECの3社で開発した。ドライブレコーダーを設置した点検車両が、滑走路の車両

走行中の点検時に路面の状況を映像でドライブレコーダーに記録。その画像から学習を重ねたAIが亀裂、損傷を自動検知する。損傷の見落としを減らし、点検者の経験に左右されない定量的な把握が可能となった。

従来は空港職員が目視で実施している滑走路の日常点検を、ドラレコの画像データによる自動点検に置き換えることで、属人性を低減させた点検や、亀裂や損傷の早期発見・補修による予防保全の実施が可能になる。

将来的には点検に使う車両を自動運転車両に置き換え、映像データを遠隔で点検する「遠隔点検」といったスマートメンテナンスの実現も目指す。